

令和3年3月 日

新潟市秋葉区長 夏目久義 殿

秋葉区自治協議会会長
金子 洋二

新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート結果について

秋葉区自治協議会では、新型コロナウイルス感染症とその予防対策が区民の生活に及ぼす影響を調査することを目的に、標記アンケート調査を行いました。得られた回答は区民の生の声であり、区政推進の参考としていただきたく、以下にご報告いたします。

1. 調査方法

A 意見箱設置による調査

B 自治協議会ホームページを使ったウェブ調査

調査期間 令和2年8月19日～令和3年2月22日

有効回答数 27件

2. 調査項目

- (1) 性別 (2) 年代 (3) 小学校区
- (4) 緊急事態宣言中や現在、困っていることや不安なことはありますか。
- (5) 緊急事態宣言中に必要だった情報、現在必要としている情報、こんなことが知りたいなど情報発信してほしいことはありますか。
- (6) その他（自由記述）

3. 結果概要

3-1 回答者属性

回答者の属性は以下の通りである。

性別： 男性9名、女性18名、無回答1名

年代： ～10代3名、40～50代8名、60～70代15名、80代～1名、
無回答1名小学校区：新津第一3名、新津第二4名、新津第三3名、結2名、荻川4名、
小合3名、小合東1名、新関1名、矢代田1名、無回答6名

3-2 困っていること／不安なこと

回答の中で最も顕著だったのは、食事会やイベント、サークル活動など、人と会う機会が制限されて困るといった声が7件寄せられた。また、首都圏にいる家族と会えないことや、用事があっても行き来がしにくいなど移動制限からくる不都合を挙げたものが4件、感染そのものへの不安が書かれた回答も4件あった。

そのほか、地域の感染者情報が具体的でないことからくる不安を挙げたものが3件、自分がインターネットを利用しないことによる情報アクセスの問題が2件あった。

3-3 情報発信してほしいこと

若者や子どもたちに対して感染予防の徹底を促す発信を求める声が顕著だった。また、地域内の具体的な感染状況や、予防対策に関する明確な情報を求める声も複数件あった。

3-4 その他／全体的な傾向

全体として、コロナウイルスへの感染に対する不安よりも、正確かつ具体的な情報の発信や、感染対策を講じた上での市民活動・経済活動の活性化を望む声が多く寄せられた。また、一部には現状の情報発信や公共施設の感染予防対策を評価する声も見られた。

以上はアンケート結果の概要です。

個々の回答の中には、少数であっても重要な意見・提案を含んだものがあります。お目通しの上、政策決定の一助としていただきますようお願いいたします。

添付資料： 新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート結果（全データ）

以 上